

イチゴ「ふくはる香」ポット育苗用土への 粒状ケイ酸加里添加による、うどんこ病の抑制

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - イチゴ - 品種、育苗、病害虫防除、施設資材
分類コード 03-07-01062335

2 担当者

武藤健男・佐久間秀明

3 要旨

県オリジナルイチゴ品種「ふくはる香」はうどんこ病にかかりやすいため、育苗時期からうどんこ病の防除を徹底することが重要である。「ふくはる香」のポット育苗において、ポット用土に粒状ケイ酸加里を加えることで、うどんこ病の発生を抑えることができた。

- (1) 10.5cmのポリポットを用い、山砂ともみ殻くん炭を体積で1:1に混合した用土に粒状けい酸加里（「みあい粒状けい酸加里」）を、ポット当たり4g、8g、16g加えて育苗し（窒素成分量はポット当たり100mgとした）、けい酸加里を加えずに育苗した苗を標準として、うどんこ病の発生、苗の生育を調査した。
- (2) 粒状ケイ酸加里を加えた育苗では、いずれの量でも、ケイ酸加里を加えない育苗に比べてうどんこ病の発生を抑制した。
- (3) 粒状ケイ酸加里をポット当たり16g加えた育苗では、ケイ酸加里を加えない育苗に比べて草丈、小葉長が小さくなり、生育も抑制された。ポット当たり8g、4gを加えた育苗ではケイ酸加里を加えない育苗と同じ生育であった。

4 その他の資料等

なし